



大野 岳

【学校教育目標】

**ふるさとを愛し、夢に向かってたくましく
挑戦する児童生徒の育成**

伊万里市立南波多郷学館

第 1 号

令和7年4月8日発行

文責 校長 多久島 一仁

再びお世話になります

このたびの人事異動により校長として赴任しました「多久島一仁（たくしま かずひと）」と申します（伊万里市在住 年齢54歳）。南波多郷学館は二度目の勤務で、以前は平成30年度の郷学館開校の年と令和元年度の2年間、指導教諭としてお世話になりました。また南波多のかわいい子どもたちと一緒に過ごせるのがとても楽しみです。



前任校は唐津市立加唐小中学校という島の学校（呼子港から船で17分）に3年間勤務しておりました。昨年度の全校児童生徒数は10名（今年度は9名）で、ひと学年1名か2名の小さな学校です。一昨年度、私は小学2・3年生の国語、4・5年生の国語、3年生の理科、3・4年生の英語活動の授業を担当したのですが、国語では前の黒板と後ろの黒板を使って行ったり来たりしながら2学年分の授業を同時にしていました。また、島にはコンビニもスーパーもないため、1週間分の食料や日用品を日曜日に買い、自炊していました。多少不便なところはありますが、その不便さも「あること」のありがたさを感じながら毎日生活することができました。また、子どもたちも少ない人数ながら、様々な工夫をしながら遊んだり学習したりしていました。

南波多郷学館も小さな学校ではありますが、学級にはたくさんの仲間がいて、いろんなことができます。そうした仲間がいる有難さを感じながら日々生活してほしいと思います。

南波多郷学館で子どもたちのために精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度学校教育目標

ふるさとを愛し、夢に向かってたくましく挑戦する児童生徒の育成

～ふるさとに学ぶ ふるさを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

今年度の学校教育目標をこのように決めました。昨年度の中尾校長から引き継いだ部分ではありますが、今年度は「夢に向かってたくましく挑戦する」としました。

ふるさについて知ることは自分のアイデンティティ（自分が自分であること、他者や

社会から認められているという感覚)にかかわることであり、自分が何者であるかをしっかりと理解することになります。他の国や地域についても学習しながら、南波多のもつ様々なよさについて考えていけたらと思います。

また、夢については、イチローさんが2004年にメジャー歴代シーズン最多安打記録を塗り替えた翌年のインタビューの言葉を紹介します。イチローさんは目標設定について、「目標は高く持たないといけないんですけど、あまりにも高過ぎると挫折してしまう。だから、小さくとも自分で設定した目標を一つ一つクリアして満足する。それを積み重ねていけば、いつかは夢のような境地にたどり着く」「小さなことを重ねることがとんでもないところへ行くただ一つの道」と語っています。

将来の夢に向かって、郷学館で行う日々の積み重ねを大事にしながら一步一步前に進んでいってほしいと思います。

令和7年度人事異動

この度の人事異動により、13名が転入することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。